ANNUAL REPORT



19年前、病児保育事業からスタートした私たちは、

さまざまな事業を展開するなかで何度も、

親子の笑顔をさまたげる社会課題に向き合ってきました。

その中で私たちは、課題解決のためには課題を生み続ける

原因から変える必要があることに気づいたのです。

原因とは現実にそぐわない制度や、"過去のあたりまえ"です。

目の前の親子の困りごとは、事業で支援ができます。

しかし日本中の親子、そして未来を生きる親子にも

広く長く支援を届けるためには、ふさわしい制度と、

それを社会に定着させる文化の力が不可欠なのです。

私たちは、事業で培った知識と経験、

当事者の声を集め、制度を変える提言と

人々の価値観に訴えるソーシャルアクションによって

"新しいあたりまえ"づくりに挑戦し、

制度と文化の一部を変えられるようになりました。

現在の姿は私たち自身すら想像もしていませんでした。

そこで私たちがこれから何をして、どこへ向かうべきなのか、

あらためて定義すべく、団体のビジョンとミッションを刷新しました。

私たちがともにつくるのは、

子どもたちが明日を楽しみに待てる希望にあふれた社会です。

先の見えない社会を進もうとする今、

皆さんと目指すこのビジョンとミッションが

社会全体の希望の旗印となることを願っています。

フローレンスグループ 会長 CEO

駒崎丞樹



新たなビジョン・ミッションを胸に、未来へ

フローレンスがめざすもの、やること

今を生きるわたしたちと まだ見ぬ子どもたちが 希望と手をつないで歩める社会。 さあ、心躍る未来へ。



いい世の中を望むのは わがままでも

ぜいたくでもない

事業をつくり、しくみを変え、文化を生み出し、 ともに「新しいあたりまえ」を未来に手渡そう。

事業・しくみ・文化を総動員して 社会の「あたりまえ」を塗り替える

いつもフローレンスをご支援いただき ありがとうございます。会長の駒崎で す。2022年度も寄付者・支援者の皆さん と「新しいあたりまえ」を共創できまし たこと、心より御礼申し上げます。

このたび、私たちが目指す姿を示した、 「ビジョン」と「ミッション」を刷新しま した。

私たちは、事業を行う組織にとどまら ず、親子をめぐるさまざまな社会課題に 対して、志を同じくする仲間とともに変 革の声を上げ続けてきました。事業の歩 みはそのまま政策提言の歩みであると言 っても過言ではありません。その歩みの 成果として、今年度も重要な子育て関連 の政策に、皆さんとともに訴えを続けて きた提言がいくつも採用されました。

しかし私たちの前にはいまだ、たくさ

んの課題が積み上がっています。今後と も、多くの寄付者・支援者の皆さんと手 を取り合って、変革をさらに加速してい きたいと考え、目指す姿をこのビジョン とミッションで表現しました。

今を生きる私たちの希望の力は 「児童虐待」すら過去にできる

今回のビジョン・ミッションにおいて、 「まだ見ぬ」未来を組み込んだのには、理 由があります。私には「『児童虐待』と いう言葉を過去のものにしたい|という 夢があります。未来の誰かが聞いたとき 「え? そんなことあったんだ」と思う世 界。実現には時間がかかるかもしれませ ん。それでも、「自分の人生を超えて在り 続けるもの | に関わりながら生きられる 実感は、今を生きる人の人生を豊かにし てくれると、私は考えています。そして それが、人が社会に関わることの原点で はないかと思うのです。

フローレンスの寄付者・支援者の皆さ んも社会課題に対して見て見ぬふりをし たくない、傍観者ではなく主体者として 変革に携わりたい。そんな思いをともに してくださっていると感じます。

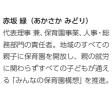
行ってみようか!

社会制度や文化を変えることは簡単で はありません。さらに世の中は、「日本の 未来は少子化で先細りだ」という不安に 包まれています。しかし変革には、「何と かしなければ という義務感よりも、「こ うなった方がワクワクする! | という希 望のエネルギーこそが力を発揮します。

フローレンスに関わってくださるすべ ての皆さんと、希望を旗印に、新しい文 化や価値観を生み出していく。いつかそ れが未来の「あたりまえ」となって人々 を照らすでしょう。未来はきっと変えら れる。願う未来へ向けて、「変革の主体 者 | である皆さんお一人お一人と旅をと もにできたら、こんなに嬉しいことはあ りません。



保育園をもっと 地域に聞くし





病児・障害児家庭の ピンチはあまかせり

杉山富美子(すぎやま ふみこ) 「あらゆる親子のピンチに駆けつけ るフローレンス」を目指して、病児 保育·障害児保育事業、経理財務· 法務部門をまとめる責任者。22年 度から多胎児家庭支援にも注力。



仙台から 保育イ/パーション!

黒木健太 (くろき けんた) フローレンス仙台支社の責任者と して、仙台の保育園事業、障害児・ 医療的ケア児保育事業を統括。保 育と子育ての地域格差を埋めるべ く奔走中。



広報・寄付で 社会変革に 「みんな」の力を!

岡水恵弥 (おかみず えみ) 広報部門の責任者として、組織内 外のコミュニケーション構築のほ か、政策提言やソーシャルアク ション、ファンドレイジング企画 を推進する。



医療にもっと 親子の気持ちをし

田中純子(たなか じゅんこ) フローレンスグループ法人「医療法 人社団ペルル」が運営する「マーガ レットこどもクリニック」院長。医 師の立場から、医療に関わる社会課 題解決、政策提言にも取り組む。

2022年度は フローレンスで上げた声が 「新しいあたりまえ」に 育った年でした

杉山:22年度の大きなニュースは、私たち が創業から取り組んできた病児保育印の お預かり件数が10万件を突破したこと。 「子育ては親だけが担うものじゃない、子 どもは社会で育もう」。これはすべての事 業の出発点です。仕事と育児の両立が生 命線であるひとり親家庭向けに、低価格 で病児保育を提供する支援プランの内容 を22年度に拡大できたのも、全国からの 寄付が大きな力になりました。新規事業 「ふたご助っ人くじ」 [2] をスタートできた ことも大きかったです。

赤坂:保育園をめぐっては大きな社会の うねりを感じた1年でしたね。待機児童 問題が解決に向かう中で、定員の空き枠 を利用して、保護者の就労の有無に関わ らずすべてのお子さんが保育園を利用で きる「みんなの保育園」構想[3]を進めて きました。

岡水:「みんなの保育園」の政策化には 力を入れましたね。全国実態調査を行っ て、記者会見を開き、先行トライアルを している私たちの保育現場を多くのメデ

ィアの方が取材してくれました。23年3 月末、政府の「異次元の少子化対策」[4] で、「こども誰でも通園制度(仮称)」とし て明記されました!

黒木:保育園の機能を広げる取り組みと して、10月から仙台では、「医ケア児おや こ給食便」をスタートしました。看護師 が医療的ケア児50のご家庭に保育園手作 りのお弁当を届けるサービスです。毎日 ケアに追われて、「自分の食事なんて『エ サ』のようなもの」と呟かれた親御さん の切実な言葉が胸に刺さりました。利用 者からは「自分たちは孤独じゃないと思 えた」と言っていただけて、本当に始め て良かったと思っています。地域との連 携が広がって、この取り組みを一緒に担 ってくれる事業者も出てきました。

岡水: 私たちは目の前にいる親子に伴走 することと同時に、課題が生まれてしま う構造・文化に働きかけることを大切に しています。22年度はその特徴が顕著に 出ていた年で、「骨太の方針| [6] に「こ ども宅食」、「日本版 DBS」 [7]、「みんな の保育園 などが入りました。また、通 園バスに取り残されたお子さんが熱中症 で亡くなるという痛ましい事件を受け、 置き去り防止装置の設置義務化を訴えて 署名活動を展開しました。たった2週間

で約4万人の方が署名に参加くださり、 小倉こども政策担当大臣(当時)に署名を 提出した直後に提言が実現しました。

私たちの強みは 「ひとりでは無理」だと 身をもって知っていること

赤坂:仙台の話にもありましたが、活動 を長く続けるほど、一団体でできること は限られる、ということを痛感しますよ ね。5月に山形市で始まった「**おやこより** そいチャットやまがた | 181 の取り組みで も、デジタルソーシャルワーカーによる オンライン相談と、地域の福祉団体が連 携した支援を行っています。デジタルと 対面双方で伴走する「ハイブリッドソー シャルワーク|は、私たちが力を入れた い取り組みです。

岡水:連携と言えば、グループ法人であ る「こども宅食応援団」を通じて全国100 団体以上とつながり、22年度は2万7000 世帯以上に「こども宅食」(P.7参照)や相 談支援を届けることができました。

黒木:あらためてすごい数!

田中:23年1月にマーガレットこどもク リニックでは「男の子にもHPVワクチン を!」キャンペーン [9] を行いました。こ

れも医療関係者による「HPVについての 情報を広く発信する会」との連携によっ て大きな反響がありました。

岡水:フローレンスの強みは、一団体で はできない総合的なアプローチを多くの 方と一緒だからこそできるところかもし れませんね。

赤坂:自分たちが事業の当事者であるこ とも大きいと思います。当事者の目線か ら課題を見つけ、解決するためにはたく さんの人と手を取り合って構造変革に挑 む。この姿勢は続けていきたいですね。

未来のために今、 見て見ぬふりをしたくない 私たちにはそんな思いが たくされている

岡水:22年末に、子どもの虐待をなくす 活動を拡大するためふるさと納税によるク ラウドファンディングを行い、全国1,700人 以上の方にご支援いただき感動しました。 **赤坂**:ご支援くださる方々の思いを感じ ましたね。お一人お一人が心の中で大事 にしていること、見て見ぬふりができな かった思いを「たくされた」と感じてい ます。その思いを受けて、皆さんは今後 どんなことを目指しますか?

岡水:23年度は赤ちゃんの遺棄・虐待死 をゼロにするための「無料産院」事業[10] を立ち上げ、先ほど話題に出たハイブリ ッドソーシャルワークなどの取り組みを 進める予定です。

田中:23年度から、グループ法人のクリ ニックとの連携強化のために、フローレ ンス内に医療局を創設します。フローレ ンスの取り組みの中で医療の力を発揮し ていきたいです。

赤坂:「みんなの保育園」は、しくみを広 げていくことがミッションですね!

杉山:保育の必要性認定が不要なら、親 が就業していない障害児家庭でも保育園 という選択肢を持てます。それは親子に とって大きな希望。すべての親子に自由 な選択肢を手渡す存在が、「みんなの保育

園 だと私は思います。

黒木:すべての親子の希望や可能性が広 がっていくとよいですね。

杉山:11月に開催した重度障害児・者の eスポーツ全国大会「アイ♡スポ」[11] が 好例ですよね! 今までは、社会的にマ イナスを抱えている親子を支援すること で、マイナスをゼロにする活動を続けて きました。でもこの大会のように、eス ポーツを通して、障害児があたりまえに 友だちと楽しんだり競ったりする。そん な新しい可能性が加われば、プラスを生 み出すこともできるかもしれない。

赤坂:「希望と手をつないで歩める社会」 を目指す以上、たくさんの「希望」を生 み出す私たちでいきましょう!



1 病児保育|お子さんの発熱時にも保護 者が就労できるよう、スタッフが居宅で保 育を提供する。22年4月に、累計件数が10 万件に達し、業界最多の実績を更新。 2 ふたご助っ人くじ | 22年4月にスタート。 サービス。スタッフが家庭に訪問し、保護者 とともに育児を担う。 自治体のベビーシッ ターの助成活用で保育料は実質無料。

3 みんなの保育園構想 | 親の就労の有無に 関わらず、すべての子どもが保育園を利用 できるようにする構想。保育の必要性認定 がない「無園児」を受け入れ、孤独な子育て をなくす狙い。「こども誰でも通園制度(仮 称)」として国が制度化を決定した。

4 異次元の少子化対策 | 23年3月に発表さ れた少子化対策の方針。①児童手当など経 済的支援の強化 ②学童保育や病児保育、産

後ケアなどの支援拡充 ③働き方改革の推進

5 医療的ケア児 日常生活において、人工 れた 「経済財政運営と改革の基本方針(骨太 呼吸器や胃ろうなどを使用する医療的ケアが の方針) 2022」。政権の重要課題や翌年度 必要な子どもたち。通称「医ケア児」。「医療 予算編成の方向性を示す基本方針。政権に 的ケア児支援法」は、フローレンスが関連団

体とともに6年の歳月をかけて成立に尽力。 6 骨太の方針 | 岸田内閣のもと閣議決定さ 7 日本版DBS | 子どもたちを性犯罪から 守るため、子どもに関わる業務に従事する 者に、性犯罪の前歴がないという証明を求 める制度。英国で制定された「Disclosure and Barring Service」のしくみを取り入れ 8 おやこよりそいチャット/ハイブリッド ソーシャルワーク | 困りごとを抱えた家庭 と、有資格のソーシャルワーカーがLINEの チャットを通じて継続的にコミュニケーシ ョンを取れるサービス。相談に乗りながら、 情報提供や必要な支援につないでいく。

9「男の子にもHPVワクチンを!」キャン

ペーン ヒトパピローマウイルス(HPV)の 感染を防ぐワクチンを、「マーガレットこど もクリニック」で9~18歳の男性を対象に 無料で接種。大きな反響を得た。

10 「無料産院」事業 | 経済的・精神的に悩

む未受診妊婦に、フローレンスが相談支援 と健診・出産費用の支援を行う。また、受診 をきっかけに必要な支援につなげ、赤ちゃ んの遺棄・虐待死ゼロを目指す。 11 重度障害児・者のeスポーツ全国大会

「アイ♡スポ」 | フローレンスの保育サービ

スを利用している重度障害児を含む、多く の選手が全国から参加し、視線をパソコン のマウスのように使う「視線入力」の技術を 使って、ゲームで競う大会。

フローレンスの活動



親子の「困った」に 駆けつける

病児保育事業/寄付によるひとり親支援/多胎児家庭支援

届いた声、集まった思いを、希望につなげる

病児保育

親御さんに代わって熱や 体調不良のお子さんを自 宅で看病する

ひとり親支援

寄付により、ひとり親家 庭への病児保育を低価格 で提供する

多胎児家庭支援

多胎児家庭専門の訪問サ ポートサービス「ふたご 助っ人くじ」



2022年度は?

フローレンス設立とともにスタートした訪 問型病児保育は、4月に累計提供件数が10 万件を突破。病児保育では、業界最多を達 成しました。コロナ禍の長期化を受け、9月 対象にリリース。また、都への提言を行い、 には「ひとり親支援プラン」の利用期間を 都内のバス全路線で双子ベビーカーを折り **2年から3年に延長。**入会時の年収上限も たたまずに乗車が可能になりました。

500万円へ引き上げました。さらに新規事 業として多胎児家庭にも支援を広げ、「ふた ご助っ人くじ」※を4月に都内の一部地域を

これから

事業と支援内容の充実に尽力し ます。また「ふたご助っ人くじ」 は22年度の利用件数が1,270 件を達成したニーズを受けて、 今後も利用できる自治体を拡大 していきます。

※ 自治体の助成を活用した



「こどもまんなか」の 保育を実践

みらいの保育園事業

小規模認可保育所

待機児童問題の解決を 目指して生まれた「おう ち保育園」

認可保育所

子どもたち自身で未来をつ くる力を育む 「みんなのみ らいをつくる保育園」

一時保育室

一時的にお子さんを預 かり育児をサポートす る「カムパネルラ経堂」



2022年度は?

持つ意志や意見を尊重する「シチズンシックルタイム」の活動を保育の一環として日々 プ保育」11を実践しています。保護者からは 続けてきました。7月公開の映画『こどもか 「3歳だけど、自分で決めることができていいぎ』を後援したほか、子どもたちの対話活 ると感じる」など、よろこびの声もいただけ 動を支援するWEBサイト「『こどもかいぎ』 るようになりました。また、子どもたちが輪 トリセツ」の監修も務めました。

フローレンスの保育園では、子どもたちが になって自分の考えを伝え、対話する 「サー

これから

独自に仙台のおうち保育園で行 っていた、親の就労の有無に関 わらない定期的な一時預かり[2] が、23年度から国のモデル事業 [3]に。今後は都内の保育園でも 実践していきます。

1 気持ちや意見を伝え合う 「対話」を大切にし、自分たち で考え、決めていくことを目 指した保育 2 保育園の定員の空き枠を活 田した―時預かり事業

3 「こども誰でも通園制度

フローレンスの専門スタッフが保育園を通し、困りごとを抱えた家庭を必要な支援につなげる取り組み。22年度は、業務委託を受けている東京都中



障害児家庭に もっと選択肢を

障害児保育・家庭支援事業

保育•家庭支援

施設型の「障害児保育園へレ ン」、自宅に保育スタッフが訪 問する 「障害児訪問保育アニ 一」、自宅に看護師が訪問する 「医療的ケアシッター ナンシー」

遊び・交流の 場づくり

障害の有無に関わらず、 みんなで遊び・交流・育児 相談ができる施設「イン クルーシブひろば ベル

保護者就労支援

出産をきっかけに離職した 親御さんの就労と社会復帰 を支える 『**障害児かぞく**「は たらく」プロジェクト』



2022年度は?

「障害児訪問保育アニー」と「医療的ケアシ さんの楽しみや可能性を生む画期的なイベ 国大会『【フローレンス杯】アイ♡スポ』を開 催。視線入力によるゲームで競い合い、お子に進んだ1年でした。

ッター ナンシー」の利用エリアが拡大し、よ ントが誕生しました。 社会的には、他団体と り多くの親子が利用できるようになりまし ともに国に働きかけ21年6月に成立した医 た。8月には重度障害児·者のeスポーツ全 療的ケア児支援法により、認可保育園や幼 稚園で軽度な医療的ケア児の預かりが急速

これから

地域の保育園などを対象に、医 療的ケア児や障害児保育のノウ ハウを積極的に広げながら、認 可保育園でお預かりが難しい重 度の医療的ケア児への支援もし っかりと続けます。



保育園の新しいモデルを 仙台から全国へ

みちのくえがお創出事業(仙台支社)

小規模認可保育所

仙台市内に3つの「おう ち保育園」

障害児家庭支援

医療的ケア児家庭に看護 師が訪問する **医療的ケ** アシッター ナンシー]

2022年度は?

保育園・幼稚園などに通っていない「無園 声が数多く寄せられ、この実績が「こども誰 児」家庭に起こる孤立を防ぐため、独自で定 員の空き枠を使った**"定期的な"一時預かり** を開始。利用者からは「子どもと離れる時間

でも通園制度(仮称)」のモデル事業化の後 押しに。また、医療的ケア児家庭支援では、 園手作りのお弁当を無料で自宅まで届け、 ができて"子育てやめたい"が"子どもがい 親御さんの負担を和らげる「医ケア児おや て良かった"と思えるようになった」などの こ給食便」をのべ51家庭に実施しました。

これから

被災地支援から始まり、今では 「みんなの保育園」※など新しい 保育園の姿を全国に発信する場 にも。今後は医療的ケア児も含 め、インクルーシブ保育の拡充 を目指します。

※ 親の就労の有無に関わら ず、すべての子どもが利用で きる保育園

さらに 「保育ソーシャルワーク」 も!

野区内の保育園に加えフローレンスが運営する保育園を対象に、発達や養育の相談・情報提供などの相談支援・ソーシャルワーク業務を行いました。







お預かりした 「無園児」

※22年度の1年間の人 数。22年度から仙台支 社では、保育園の定員 空き枠を活用して、未 就園児・障害児の定期 的な一時預かりを実施



お預かりした 障害児• 医療的ケア児

※22年度までにヘレン、 アニー、ナンシー (首都 圏・仙台)でお預かりした 障害児・医療的ケア児数





フローレンスの活動



赤ちゃんの 虐待死をセ"ロに!

にんしん相談/赤ちゃん縁組事業

妊娠相談窓口

LINEでの相談を入口に、 予期せぬ妊娠に悩む女性 を支援につなぐ「**にんし** ん相談」

養親サポート

育ての親になりたい夫婦 に向けた情報の提供や 「養親研修」 などでのサポ ート

特別養子縁組

戸籍上、実の親子になる法 的制度のもとで、国・都に許 可を受けて縁組をあっせん する **「赤ちゃん縁組」** 事業



2022年度は?

期せぬ妊娠に悩む中期以降の妊婦さん向けな支援を受けることを目的としています。

生まれたばかりの赤ちゃんの遺棄・虐待死に、初回の妊婦健診の費用を代わりに支払 が続く状況を改善すべく、16年からスター う「初回受診料支援」を23年3月にリリー トした特別養子縁組のあっせん事業に引き ス。お金が理由で受診できない状況をなく 続き取り組みました。にんしん相談では、予し、妊婦さんが医療や行政とつながり、必要

これから

経済的に困難を抱えた未受診妊婦を 対象に、健診・出産費用を支援する 「無料産院」事業を開始。妊娠相談か ら医療機関や公的支援へつなげ、赤 ちゃんの遺棄ゼロを目指します。



伴走型支援で 家庭の孤立を防ぐ

こども宅食事業

食品のお届け

生活の厳しい子育て家庭 と食品をきっかけにつな がり、必要な支援につな げる [こども宅食]

全国普及推進活動

一般社団法人こども宅食 応援団と協力した「こど も宅食」の全国普及活動

伴走型支援

家庭と継続的につながる オンライン相談支援「お やこよりそいチャット」



2022年度は?

コロナ禍や物価高騰を背景に「こども宅食」 の支援が全国的に拡大。他の支援団体や食 品関連企業と連携し、寄付食品を約24万 点・約2万世帯に届ける「こどもフードアラ イアンス」を実現しました。さまざまな理由 約1,000件の相談に対応しています。

で孤立してしまう家庭がLINEなどで気軽 に相談できる「おやこよりそいチャット」は、 21年度の神戸市に続き、22年度には山形市 でも始まり、全国6,260世帯とつながり月間

オンライン相談で関係性を築き、必 モデルの創出を目指します。

これから

要に応じてリアルでの見守り・支援に つなげる **「ハイブリッドソーシャルワ** -ク」の全国的な普及と、新しい支援



新しいあたりまえを 社会とともにつくる

みんなで社会変革事業(寄付・広報)/代表室

ら社会をしくみから変える政策提言に加え、 価値観を創ることに挑戦しています。22年 子を取り巻く社会課題解決を目指します。

課題を事業・活動の中から見出し、世の中の はふるさと納税を活用した1億円規模のク 声に耳を傾け、皆さんの力をいただきなが **ラウドファンディング**を実施。ここにご参加 いただいた皆さん、のべ2万人の寄付者の皆 ソーシャルアクションによって新しい文化やさんとともに親子の孤立や虐待をはじめ、親

22年度のメディア露出

メディア掲載実績: 1.087件(TV 59件、新聞 208 件、WEB 625件、雑誌 11件、ラジオ 184件) 【主な露出先】

NHK 「おはよう日本」・TBS 「ひるおび」・NTV 「news zero] ほか報道番組、新聞各社(朝日・読売・毎日・ 日経ほか)

皆さんと実現したソーシャルアクション

地道に積み重ねてきた政策提言が 政府の「骨太の方針」に複数採用!

親の就労の有無に関わらず通園できる「みんなの保育園」構想で は、独自の全国調査で集めた約2,000人の声をもとに記者会見や 広報で必要性を訴えました。これが実を結び、「日本版 DBSI (子 どもと関わる現場に性犯罪者を立ち入らせない制度)や「こども 宅食」とともに政策に採用されました。

通園バス置き去り事件を受け、 署名を集めスピーディに政策提言

繰り返される園児のバス置き去り事件を防ぐため、「置き去り防止 装置」設置を訴える署名活動を実施。約4万筆の署名を小倉こども 政策担当大臣(当時)に届け、翌日には大臣が関係府省に義務化を指 示。皆さんの思いを速やかに制度化につなげました。



「みんなの保育園」は 多くのXディアで 話題になり、 提言が実現!!



「男性育休があたりまえの社会」を みんなで実現へ

多くの仲間とともに10年以上かけて提言してきた男性育休義務化。 関連法案は21年から段階的に改正され、ついに23年度から従業員 1,000人以上の企業に対して育休取得状況の公表義務化が決定。これ を受け、企業に育休取得を促す記者会見を関連団体と実施しました。

新しい「働く」をつくり、 社会に掲げる

働き方革命事業(総務・人事・経理)

働く人にとって最善のしくみを考える場で きる制度を創出してきました。障害者が個

もある本部署では、全国の中でも男性の育 性を活かしチャレンジできる場づくりにも 休をいち早く社内で浸透させ、その後も多様取り組み、社内の業務効率化を担う総務部 なライフシーンに合わせた働き方を選択で 門には、特別支援学校の卒業生が複数在籍。 の社会との接点づくりも進めます。

22年度は特別支援学校から7名の生徒を実 習生として受け入れました。今後は、就職率 が6%と極端に低い肢体不自由の生徒たち

予期せぬ 妊娠に悩む 妊婦さんからの にんしん相談 ※オンライン、オフラ インを通じて22年度

までに受けた相談件数



こども宅食 食支援• 相談支援世帯 ※こども宅食応援団104

団体とフローレンスを通

じて、22年度までに全国

にお届けした総世帯数



おやこよりそいチャットで つながった世帯

※専門相談員が家庭にデジタ ルとリアルでのハイブリッド ソーシャルワーク(相談支援) を行うサービスへの登録世帯 数(23年4月1日時点)





への政策提言も多数





「フローレンスがあるから」生まれる希望のために

皆さんの想いを受け取った利用者さんの声

温かい心遣いに、

涙が止まらなくなった

今日、お米を受け取りました。

こんな優しい支援を無条件にしてくださる方々がいるのかしらと

思う気持ちもあったので、お米が到着したときに、

本当だったんだと感動し、目の前がパッと明るくなりました!

しかも無洗米だと気づき、涙がでて止まらなくなりました。

きっと、少しでも労力を減らして休めるように、

お水代を使わなくてもいいように、苦しい立場にいる私たちのような親子のために、

愛情を持って色々考えながらお気遣いくださったのではと思います。

皆さんのその温かいお心が、何よりも嬉しかったです。

「ノーセーフティネットひとり親家庭緊急支援プロジェクト」お米 (10kg) の無償配送利用者









窮地を救ってくれた「病児保育」を、 今度は提供する側に

専業主婦だった私が、離婚して2人の子どもと暮らし始めたとき、

一番の心配は子どもの病気で仕事を休むことでした。

頼れる身内もなく、日々の記憶がないほど張り詰めた生活でしたが、

フローレンスの病児保育ひとり親支援プランに登録できてからは

安心して働けるようになり、なんとか育てあげることができました。

私は今、夢を叶えてフローレンスの病児保育スタッフとして働いています。

皆さんから私たち親子がもらったものを、

誰かにつないでいく仕事ができていることを幸せに思っています。

元「寄付によるひとり親支援プラン」利用者、現フローレンスの病児保育スタッフ

かけがえのない、

私たち家族の第二のホーム

障害児保育園ヘレンに入る前は、

息子をケアできる人が限られていて私がつきっきりで自宅に。

社会がどんどん遠のいて取り残されていくようでした。

でも、ヘレンに息子を預けたら、ひとりの社会人として必要とされて、

社会に居場所を見つけられました。

息子も入園してから笑顔がすごく増え、集団生活でできることも増えました。

先生方は息子の成長を心から願い、変化に細かく気づいてくれて、

子どもにも私にも寄り添ってくれました。

何かあったときには相談できて、家族の意見を尊重してくれるヘレンは、

卒園しても私たち家族にとって、なくてはならない第二のホームです。

障害児保育園ヘレン2022年度卒園生の保護者さん

「子育でやめたい」を

「子どもがいて良かった」に変えたのは

夫の転勤で、まだ幼い2人の子どもを連れて越してきた知らない土地で、

一時保育を探したものの預けられず。上の子がイヤイヤ期で外出が難しく、

下の子は夜泣きが酷くて1年以上ろくに眠れてない状態でした。

毎日イライラして上の子を激しく怒ったり、自然と涙が流れたりして、

このままでは私も家族も壊れてしまう。助けを求めなくてはと思いました。

そんなとき、フローレンスのおうち保育園に出会ったんです。

定期利用もできて「やっと助けてもらえる!|と安心したのを覚えています。

上の子は、保育園で同年代のお友だちと毎日触れ合って思い切り体を動かし、言葉が増えました。

下の子は、離乳食が進んでお昼寝が落ち着いてできるようになりました。

保育園は、「ひとりで背負うしかないのかな、もう逃げたい、子育てやめたい…」を、

「やっぱり子どもはかわいい、子どもがいて良かった!」に変えてくれた唯一の存在です。

仙台市「おうち保育園かしわぎ」定期預かりサービス利用者



病児保育 「寄付による ひとり親支援プラン」 利用者さんの声

救世主的な システムです。 スタッフさんが毎回とても 良い方ばかりですし、 予約もwebで完結できたり、 病院受診対応をしてくれたりと、 育児に追われている親にとって ありがたいサービスが満載です。

娘の急な体調不良で 誰も頼れない不安と 仕事の予定を変えざるを得ない 辛さを何度も経験しています。 病児保育があれば精神的にも 物理的にも安心できます。

病児保育のサポートを 受けられるだけで、 子どもの体調不良の予兆に ビクビクしなくて済む… 絶望的な気持ちから肩の荷が 下りるような希望になります。

前職で、子どもの体調不良で 欠勤が続いたことを理由に 昇給とポーナスが無くなり、 落ち込んでいましたが、 保育サポートを受けられることで 前向きになれるうです。

転職の面接で、子が熱を出したときの 対応について問われることが 少なからずあり、困っていました。 見ず知らずの困っている人に 思いやりをもって寄付くださる方々には 感謝の気持ちでいっぱいです。



























想いの力を、変える力につないでいく

フローレンスにたくしてくれた寄付者さんの声

僕の活動をきっかけに、

子どもの貧困支援の輪を広げたい

小中学校のときに家庭の事情で野球を諦めなくてはいけない人 たちをたくさん見てきました。彼らのように夢を諦めるしかな い子どもが日本に多くいることを知り、なんとか力になりたい と思い、2022年のシーズン公式戦で記録した得点数と盗塁数の 合計×1万円をフローレンスに寄付しました。僕の活動をきっか けに支援の輪が広がり、多くの子どもが夢を持ち続けられる社 会になるよう、僕自身は野球で頑張る姿を見せ続けたいです。



©YOMIURI GIANTS

読売巨人軍 吉川尚輝選手

子どもたちが誇りを持って

生きられる社会づくりを

病児保育や障害児家庭支援、赤ちゃん縁組など、日本の難しい 課題を解決しているフローレンスさんを応援させて頂いており ます。私は普段スタートアップの経営や投資に関わる中で、自 分たちが社会の一員として寄付や支援をすることが当たり前に なって欲しいと考えています。一人でも多くのお子さんが幸せ に、生まれてきたことを誇りに思ってくれる社会づくりをこれ からもフローレンスさんと共に歩んでいきたいと思います。

古橋智史さん

母の卒寿記念に、 子ども・孫たちが集まって 寄付先を決めました。

温かい想い、

今日が誕生日。

広がっています

元気でいられることに

感謝し、少しでも誰かの お役に立ちたいと思います。

今はお金に余裕がなくても、 100円から Amazon Pay で寄付できる。 一人でも多くの赤ちゃんが、 明るい未来を生きていけるように。

大学の授業で フローレンスの活動を知りました。 私が関心のある問題に真摯に 取り組んでいて、 応援したいと思いました。

大きな力になると感じた。 救える尊い命のため、 私も微力ながら役に立ちたい。

小さな善意でも、集まれば

豊かで柔らかな 社会につながる活動を応援

助けになったと感じる人たちの

それぞれの体験や幸福が積み重なった先に、 豊かで柔らかい社会があるのだと思います。 雑音にとらわれず、

しかし小さな声に耳を澄ませながら、 これからも活動を続けてください。

応援しています。



ASIAN KUNG-FU GENERATION 後藤正文さん

叔母の生きた証を 未来の子どもに届けたい

子どもに恵まれなかった叔母の遺産が届いたとき、消えてしまうお金になるよりも、 叔母の生きた証として子どもたちの笑顔につながることに貢献したいと思い、孫が 病児保育でお世話になっていたフローレンスへ寄付することを決めました。後日、 叔母宛にいただいた感謝状は、母の仏壇に飾って叔母への伝言として託しました。 母とふたり、天国から子どもたちの笑顔を見守ってほしいと願っています。

高林千尋さん

企業の皆さん

皆と共に

明るい未来に向かって

弊社は「従業員が住み、働いている地 域・近隣社会に貢献する」という指針の もと、特に将来を担う子どもたちに対し ての支援に力を入れています。明るく笑 顔いっぱいの未来へとつながる「今」を 大切にして、サポートを継続していきた いと思います。

> コストコホールセールジャパン株式会社 ご担当者

包括的な連携で 継続的な支援を届ける

弊社は2004年から、ボランティア、助成 金、製品活用といった包括的な連携によ り、障害児保育園や経済的困窮家庭など に継続的な支援を届けています。これか らもパートナーシップを通じて、親子の 笑顔あふれる社会の実現に向けて取り組 んでいきたいと思います。

> 株式会社セールスフォース・ジャパン Philanthropy (社会貢献) ご担当者

子どもたちが 健やかに成長できる未来へ

弊社は医療や介護を通じて社会に貢献す ると同時に、子どもたちが健やかに成長 できるような未来に寄与したいと考え、 フローレンスの支援を決めました。どん な状況でも、親子が孤立せず安心して子 育てができるようサポートをしていきた いと思っています。

> 医療法人なごみ 西谷直浩様

ご支援と一緒に、 皆さんのお気持ちを 届けます

専門資格を持ったスタッフが ご支援をお預かりしています。

活動に共感し、信頼を寄せ てくださる寄付者の皆さん の、温かなお気持ちを励み

個人寄付担当



川村登茂子

日々困難な状況にある方々 に思いを馳せ、寄付してく ださる皆さんとの心のつな がりに感謝しています。

寄付問い合わせ担当

佐藤万由花 想いのある企業さんたちと 協働し、一緒に社会をより 良くできることに、やりが いを感じています。





あなたが届ける未来への贈り物

遺贈寄付とは、遺言や相続財産などからの ご寄付のことで、少額からご検討いただけま す。故人の想いを、日本の子どもたちの明る い未来の実現につなげることができます。

寄付方法の ご案内は、



13

フローレンスを支えてくださった企業・団体 (一部紹介)







KDDI株式会社



コストコホールヤールジャパン株式会社



HOLDINGS 株式会社サックスバー ホールディングス



株式会社西友



株式会社 セールスフォース・ジャパン



株式会社セブン&アイ・ ホールディングス



株式会社タイムレス



デッカーズジャパン合同会社



医療法人なごみ



日本オラクル株式会社



◆ 日本生命

日本生命保険相互会社



一般社団法人バンクフォースマイルズ



株式会社 Brillar



株式会社フロウエル

JVCII



みてね基金



村上財団

一般財団法人村 上財団



明治ホールディングス株式会社



株式会社リコー



レゴジャパン株式会社

技術提供ほか、さまざまな形で支えてくださった企業・団体の皆さん

ウイングアーク1st株式会社 | ソフトバンク株式会社 | 公益財団法人パブリックリソース財団 | ヤフー株式会社Yahoo!ネット募金

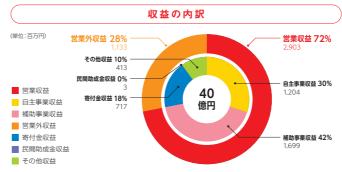
2022年度財務報告



2022年度は総収益4,035百万円、+242百万円の増収(前年比106%)、正味財産11 百万円、▲53百万円の減少(前年比16%)となりました。今年度は、全国のこども宅 食事業者と連携して宅食事業を推進する、「こどもフードプラットフォーム事業」に 支援企業様から多くの食品・日用品の寄贈をいただきました。また、渋谷区と協働で ふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディングを実施しました。

*正味財産(純利益)は21年度以前にいただいた寄付金(営業外収益)による積立金から132百万円を取り崩し、 戻し入れた後の実績となります。

NPOは寄付者や会員に利益を分配することを禁止されていますが、利益を上げることが禁止されているわけではありません。私たちは社会課題解決のために、その利益を次年度以降の投資に使っていきます。



フローレンスの収益構成には2つの特徴があります。

①持続可能な事業運営

フローレンスはサービス提供による事業収益を主な収益としているため、持続可能性の高い事業運営を行っています。

②寄付者様からの支援

フローレンスは数多くの寄付者のみなさまから支援をいただき事業を推進しております。2022年度は7億円の寄付をいただきました。寄付金は、新たな福祉サービスの開発や事業投資、政策提言活動などに使用し、社会課題解決に向けた推進の力としております。

今後は、コロナ禍で見えてきた様々な課題を解決していくため、こども宅食事業や赤ちゃん縁組事業における支援の充実と受益者の便益向上、さらには新規事業開発に力を注いで参ります。その原資として「あたらしいつながり創造積立金」の積立や、全事業を横断したソーシャルワーク人材拡充をはじめとした団体内の人材開発のための「人材等投資積立金」の積立も行い、継続的かつ包括的な支援活動を実施していく計画です。

2022年度 貸借対照表

科目	金額 (千円)
I 資産の部	
1. 流動資産	1,968,628
2. 固定資産	311,826
資産合計	2,280,454
Ⅱ 負債の部	
1. 流動負債	364,143
2. 固定負債	861,160
負債合計	1,225,303
Ⅲ 正味財産の部	
正味財産合計	1,055,151
負債及び正味財産合計	2,280,454

開示情報の前提 NPOはあくまでも「社会課題の解決」を存在意義とし、利益は継続的な活動をしていくための 手段です。とはいえ責任を持って持続可能な運営を行うためには、企業と同様に財務健全性を度外視することは できません。フローレンスはそうした財務健全性を保つため、本ページにおいて財務情報の開示を行い、経営の 透明性を高めてまいります。なお、会託処理および開示方法については、NPO会計基準に従っております。



フローレンスの事業は、サービス提供による事業収益を主な原資とするモデル (事業型モデル) と、寄付収入を主な原資とするモデル (寄付型モデル) の 2 つの事業モデルがあります。

事業型モデル

・障害児保育事業…21年の医ケア児法により認可保育園において、軽度障害や医ケア児の受け入れ枠が拡大し障害児保育ニーズが減少しました。

「障害児保育園へレン」▲63百万円の減収「障害児訪問保育アニー」▲17百万円の 減収となりました。

「医療的ケアシッターナンシー」では、看護師による重度医ケア児訪問保育の提供量が増え29百万円の増収となりました。

寄付型モデ

- ・みんなで社会変革事業…渋谷区と協働でふるさと納税を使った寄付募集を行いました。(88百万円)
- ・こども宅食事業…こどもフードプラットフォーム*を開始し、203百万円の増収となっています。
- *食品を支援会社様から寄贈していただき、全国のこども宅食事業者と連携して宅食事業を推進する枠組み



経常費用のうち事業に使用された費用の割合を示す事業費比率は、2022年度91%でした。フローレンスでは事業費比率90%前後を目安として事業運営しております。

2022年度 活動計算書

科目	金額(十円)
I 経常収益	
1. 受取寄付金	716,881
2. 受取助成金等	1,702,199
3. 事業収益	1,204,066
4. その他収益	412,518
資産受贈益	403,877
その他	8,640
経常収益計	4,035,665
Ⅱ 経常費用	
1. 事業費	3,776,978
2. 管理費	377,229
経常費用計	4,154,207
当期経常増減額	▲ 118,543
Ⅲ 経常外収入	
経常外収入計	132,700
IV 経常外費用	
経常外費用計	2,500
法人税、住民税及び事業税	592
当期正味財産増加額	11,066

あなたの寄付が、ともに支え合う社会を、新しいあたりまえをつくる力になります

例えば……



^{毎月} 3,000円のご寄付で

予期せぬ妊娠で困った女性1人の相談対応を行うことができます。

^{毎月} 15,000円のご寄付で

医療的ケアが必要なお子さんを 支援する専門的な研修を1日実 施できます

^{毎月} 10万円のご寄付で

困難を抱える50世帯以上にお米5キロ程度のお届けと、それをきっかけとした"つながる活動"が定期的に行えます



8,400円集まれば

ひとり親家庭1世帯に病児 保育を1ヶ月提供すること ができます

10万円集まれば

訪問看護で必要なバイタル サイン測定機器2台を導入 することができます

1千万円 集まれば

全国約1万世帯に、企業から集めた 食品や生活用品、書籍などを配布 するプロジェクトの運営・配送等の 費用に充てることができます

▶ マンスリーサポーターで支える

1,500円からの継続的なご寄付。 フローレンス全体の活動を支え、 政策提言や緊急支援を実現する力になります。

新規の お申し込み



金額、コースの変更



▶ 今すぐ、支援をする

100円から、お好きな金額と方法で。 その一歩が、 社会を変える大きな力になります。

クレジットカード







amazon pay



VISA



各種銀行振込

▶ さまざまな方法で支援する

物品、読み終えた本、ポイントなど、 お金以外にも簡単な方法で 寄付ができます。



法人・団体の皆さんへ



取り組み事例のご紹介



寄付の相談・お申し込み

▶ 遺言による寄付・相続財産からの寄付

少額からのご寄付も可能です。 まずはご相談ください。



寄付額の 最 大 5 割 が戻ってきます

フローレンスは東京都の認定を受けた、認定NPO法人です。ご支援くださる皆さんは、所得税、法人税、相続税などの税制上の優遇措置を受けることができます。

こども達のために、日本を変える

Florence

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目14-1 KDX神保町ビル3F TEL 03-6811-0903 FAX 03-6811-0902 https://florence.or.jp/

2004年 特定非営利活動法人内閣府認証取得

2012年 東京都より認定非営利活動法人(認定NPO法人)取得 2023年 スタッフ(事務局・支援スタッフ他)合計760名(4月現在)

認定NPO法人フローレンス

会長 駒崎 弘樹 代表理事 赤坂 緑(2022年9月1日就任)

- フローレンスグループ
- ・一般社団法人 こども宅食応援団
- ・医療法人社団ペルル(「マーガレットこどもクリニック」を運営する法人)
- ■関連団体
- ・特定非営利活動法人 全国小規模保育協議会
- ・全国医療的ケア児者支援協議会
- ・新公益連盟